

●施工後、必ずお施主様へお渡しください。

## 使用上の注意

## 施工上の注意

## 施工説明書

## 取扱説明書

### MUKU/CONBI/PRIME/SHEETシリーズ

### 片開き戸・トイレ

<固定枠 90/110/134/150/165>

<スリム枠 134/150/165>

●施工の前にこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。

- 扉の開閉は静かに行ってください。乱暴に扱うと扉が破損したり脱落する恐れがあります。
- 扉の把手にぶら下がったり、扉にもたれたりしないでください。扉が破損したり脱落する恐れがあります。
- 扉に指をささないよう把手を持って正しく操作してください。特に小さなお子様には十分にご注意ください。
- ストーブ等の熱源を近くに置かないでください。扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。
- ガラスに強い衝撃を与えたり物をぶつたりしないでください。ガラスが割れる恐れがあります。特に小さなお子様には十分にご注意ください。

- 本製品は屋内専用です。屋外や浴室等水がかかる部分や他の用途へのご使用はおやめ下さい。
- 枠セットや建具本体は立て掛けず、水平の状態 で保管してください。
- 枠を躯体へ取り付けの際は、必ず水平と垂直を確認してください。
- 枠をコンクリートやモルタルへの直付けはしないで下さい。やむをえず直付けする場合は、枠木口と下地面の間に必ず防水処理をして下さい。
- 枠の組立、取り付けには同梱のビスを使用して下さい。他のビスを使用すると、脱落や垂下がり等の原因となります。
- 施工中、建具本体は養生・保全し、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、昼夜などで温度差の激しい場所には置かないで下さい。
- 塗り壁の場合は壁が十分に乾燥してから建具本体を吊り込んで下さい。
- 施工後は傷や汚れを防ぐ為に、ダンボールなどでしっかりと養生をして下さい。
- 部材が汚れた場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。  
注)シンナー、ベンジン、アルコール等の溶剤は変色・変質の原因となります。

## 部材・部品の確認

### ■部材・部品の構成内容

	部材・部品名	数量	備考	
扉セット	扉本体	1		
	錠	1	扉本体に取付済	
枠セット	上枠	1	(2方枠の場合は t 15LVL)	
	縦枠	2		
	ラッチ受け	1	枠本体に取付済	
	内寸定規	1		
	戸当たり	縦用	2	(2方枠の場合は縦用のみ)
		上用	1	
	戸当たり接着剤	1	35g入	
	床見切り	1	※別途発注品	
	組立ビス	4	φ3.8*55	
	施工ビス	20#× <sup>φ</sup>	11	ダンドリ調整ビス L=55
22・24#× <sup>φ</sup>		14		

	部 品 名	数 量	備 考
丁番セット	丁番 (2枚吊・3枚吊)	2・3	枠本体に取付済
	丁番取付ビス (扉側)	8・12	皿ネジ 3.8*40 (38)
把手セット	把手座	1	
	レバーハンドル	1	

※表示錠・間仕切り錠仕様の場合は、把手セットに同梱しています。

### 必要梱包

固定枠/スリム枠： 扉セット+枠セット+丁番セット+把手セット

# 納まり寸法図 固定枠 90/110/134/150/165

■建具枠セット寸法表

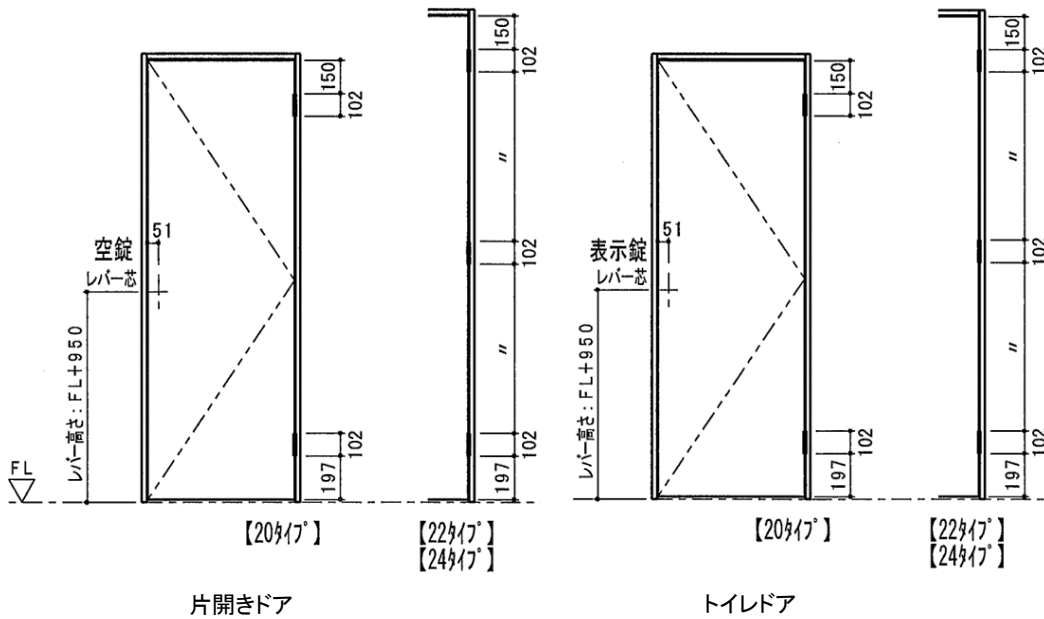
床のみこみ

サイズ品番	枠外W	枠外H	枠内W	枠内H	DW	DH
6520	650	2036	602	2000	594	1983
7320	735		687			
7520	755		707			
7720	778		730			
8520	850		802			
6522	650	2236	602	2200	594	2183
7322	735		687			
7522	755		707			
7722	778		730			
8522	850		802			
6524	650	2412	602	2376	594	2359
7324	735		687			
7524	755		707			
7724	778		730			
8524	850		802			

床上

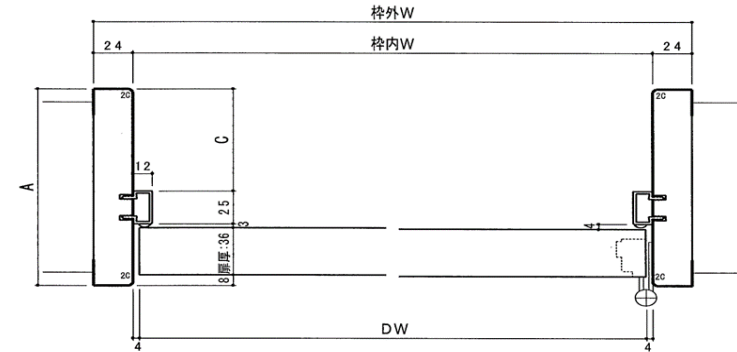
サイズ品番	枠外W	枠外H	枠内W	枠内H	DW	DH
6520	650	2024	602	2000	594	1983
7320	735		687			
7520	755		707			
7720	778		730			
8520	850		802			
6522	650	2224	602	2200	594	2183
7322	735		687			
7522	755		707			
7722	778		730			
8522	850		802			
6524	650	2400	602	2376	594	2359
7324	735		687			
7524	755		707			
7724	778		730			
8524	850		802			

■建具枠セット姿図

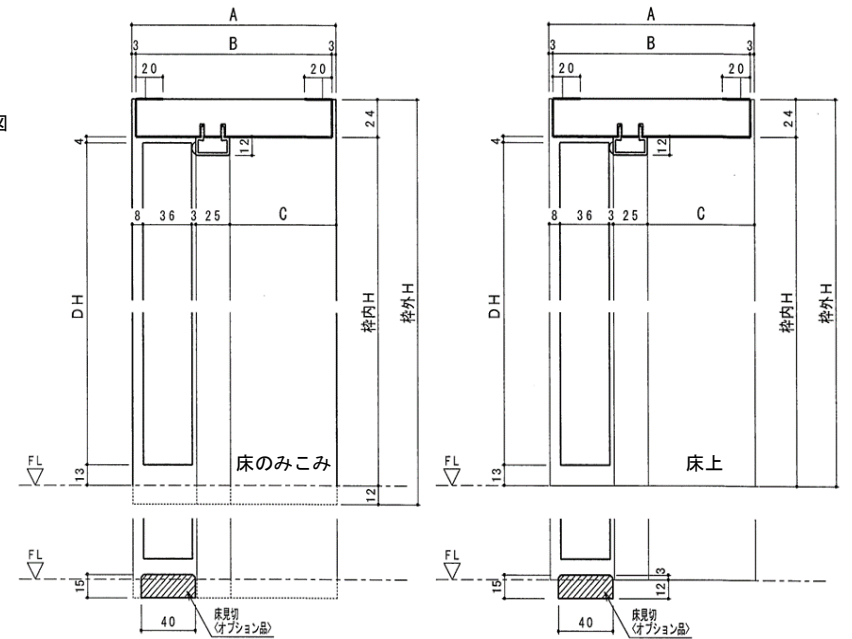


■横断面図・縦断面図

■横断面図



■縦断面図



# 納まり寸法図 スリム枠 134/150/165

■建具枠セット寸法表

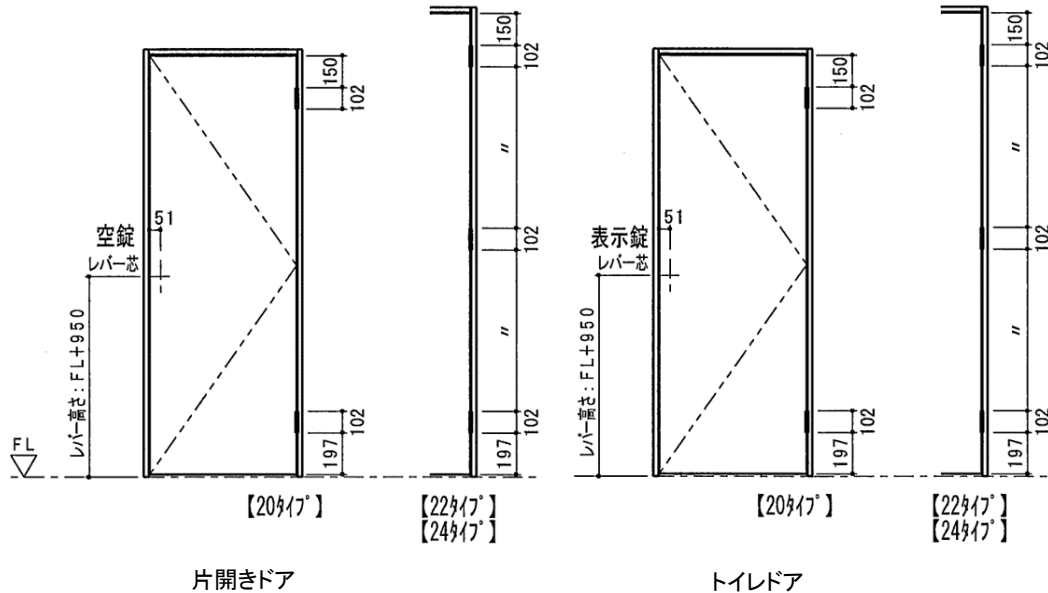
床のみこみ

サイズ品番	枠外W	枠外H	枠内W	枠内H	DW	DH
6520	650	2036	602	2000	594	1983
7320	735		687		679	
7520	755		707		699	
7720	778		730		722	
8520	850		802		794	
6522	650	2236	602	2200	594	2183
7322	735		687		679	
7522	755		707		699	
7722	778		730		722	
8522	850		802		794	
6524	650	2425	602	2389	594	2372
7324	735		687		679	
7524	755		707		699	
7724	778		730		722	
8524	850		802		794	

床上

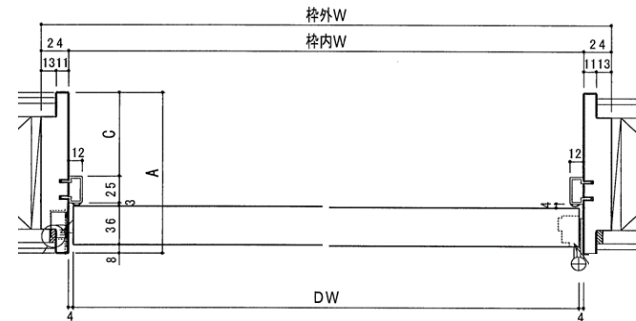
サイズ品番	枠外W	枠外H	枠内W	枠内H	DW	DH
6520	650	2024	602	2000	594	1983
7320	735		687		679	
7520	755		707		699	
7720	778		730		722	
8520	850		802		794	
6522	650	2224	602	2200	594	2183
7322	735		687		679	
7522	755		707		699	
7722	778		730		722	
8522	850		802		794	
6524	650	2413	602	2389	594	2372
7324	735		687		679	
7524	755		707		699	
7724	778		730		722	
8524	850		802		794	

■建具枠セット姿図



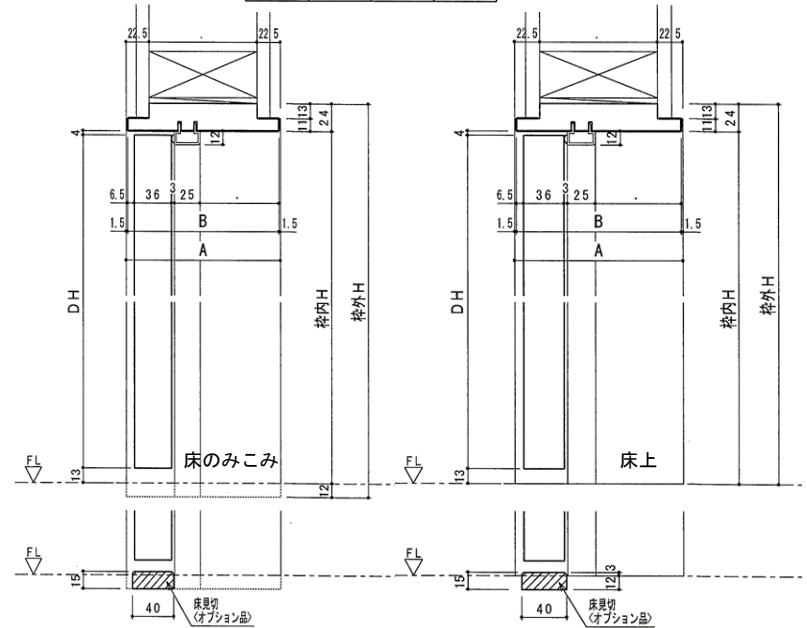
■横断面図・縦断面図

■横断面図



	134巾	150巾	165巾
A	134巾	150巾	165巾
B	131	147	162
C	62	78	93

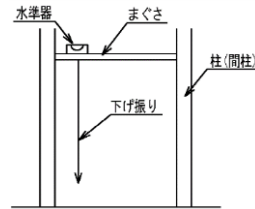
■縦断面図



# 施工手順

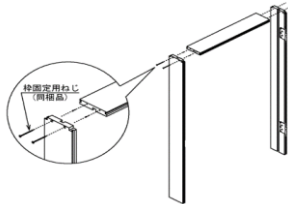
## 準備

- 開口寸法に製品寸法を照合確認して下さい。
- 施工の際は下げ振り、水準器を利用し開口部(まぐさ、梁、柱等)の水平・垂直・柱相互の前後の倒れが無いかよく確認し、建具等を設置する開口部の幅、高さの寸法精度を十分に確認して下さい。



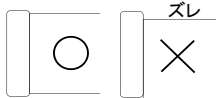
## 1. 枠の組み立て

- 縦枠、上枠を枠固定用ビス(同梱品)で固定してください。



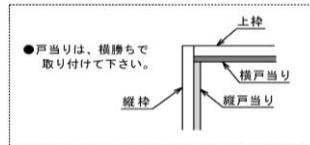
### 固定枠の場合

- 縦枠と上枠にズレが無いことを確認して下さい。



## 3. 戸当りの取付け

- 戸当りを縦枠・上枠の溝にはめ込み、位置を調整します。  
※戸当りは接着剤(同梱)を塗布して下さい。



- 戸当りは、横棒から取り付けて下さい。

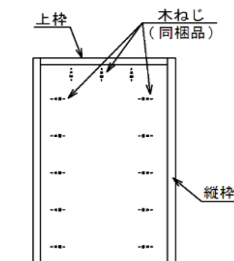
## 2. 枠の取り付け

- 枠を開口部にはめ込み、縦枠・上枠のリード穴から開口部(柱等)に木ビスで固定して下さい。
- 枠と調整材の間に接着剤を塗布してください。
- 建具の動作に支障をきたす恐れがあるため、枠の水平・垂直を確認してから取付けてください。

### ●枠取付け寸法精度基準

建て入れ	: 誤差2mm以下
内法高さ・幅	: 差異2mm以下
建具枠と建具の空き	: 空き寸法の差異1mm以下
縦枠上下の内寸法	: 差異2mm以下

※建具の動作に支障をきたす恐れがあるため、上枠寸法精度を厳守して下さい。



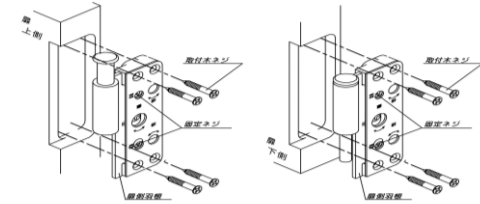
図のようなことがあった場合、扉が開まらないことがあります。



## 4. ドアの吊込み

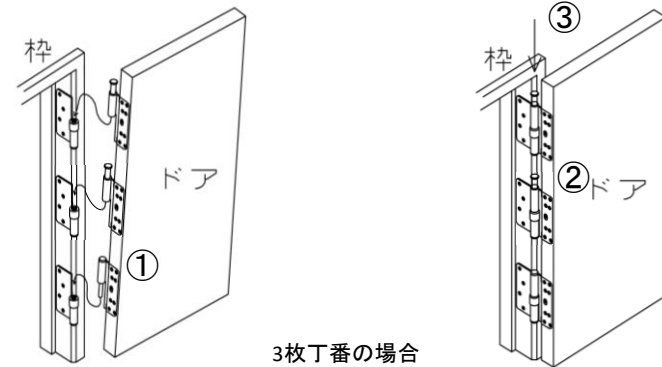
### ■丁番の取付け

- ① 枠側
  - 工場出荷時に枠側の丁番は取付け済みです。
  - 輪ゴムで固定されている扉側の調整プレートを外し②へ
- ② 扉側
  - 調整プレート(扉側羽根付)を扉の溝に差し込み扉側ブラケット取り付けねじ(同梱品)で上下の丁番を固定して下さい。



### ■ドアの吊込み

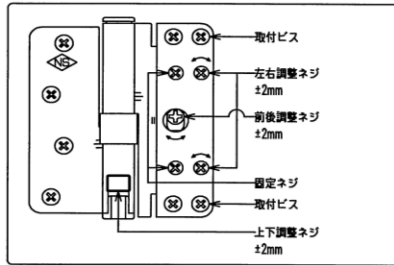
- ドアが上枠に当たらないようにドアをやや傾けながら①の下用丁番から差し込みます。
- ドア本体上部②③の丁番の軸を引き上げながら枠側丁番の位置に合わせ、軸を戻し接続します。



3枚丁番の場合

5. ドアの調整方法

調整蝶番取り扱い説明書



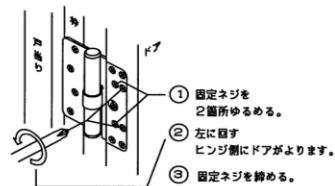
⚠ 調整時の取り扱い注意

- 調整時に固定ネジを緩めるときは2回転以内にしてください。
- 取付ビスは調整時に緩めないでください。
- 電動ドライバーは使用しないでください。

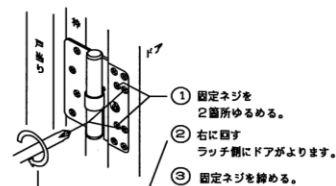
三次元調整蝶番の調整方法

左右調整

■扉が枠に当たる

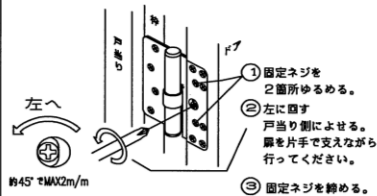


■扉と枠の隙間が大きい

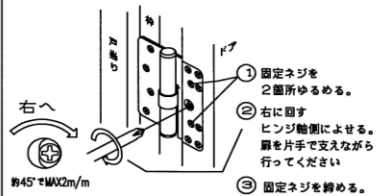


前後調整

■扉が枠からはみ出る



■扉の反り

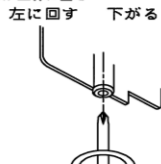


⚠\*注意! 調整量以上回し過ぎないこと。目し過ぎると壊れることがあります

⚠\*注意! 調整量以上回し過ぎないこと。目し過ぎると壊れることがあります

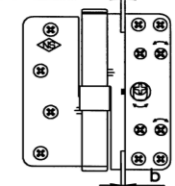
上下調整

■扉が上枠に当たる



■扉が床に接触する  
右に回す 上がる

■ドアの調整時の注意点



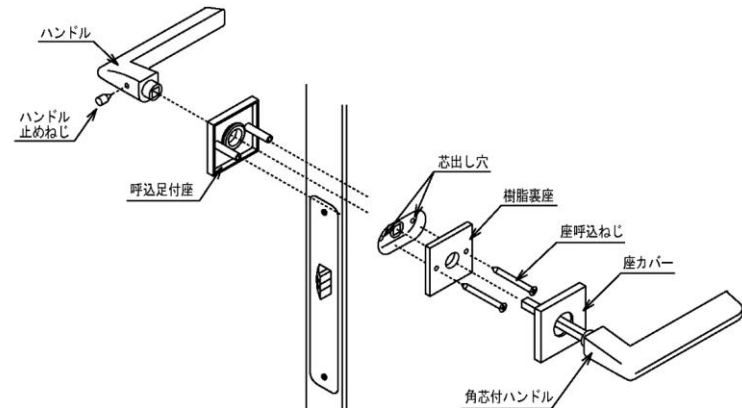
⚠ 左右、前後の調整時など、固定ネジを緩めた時は必ずa・b寸法(ベースと蝶番の隙間)が平行になる様に確認して固定ネジを締め込んで下さい。シャフトに異常な力が加わり、破損の原因になることがあります。

6. レバーハンドルの取付け

※本図は角座の取付け方法です。丸座は金具に同梱されている取付け説明書を確認して下さい。

- ①呼込足付座を錠本体の芯出し穴に差込み、樹脂裏座と座呼込ねじで仮止めして下さい。
- ②芯出しのため、両側のハンドルを差込み、調子みて動きの良いところで座呼込ねじを締め付けてください。
- ③ハンドルを一旦抜いてから、座カバーを切欠きを下にしてはめ込んで下さい。
- ④②と同様にハンドルを差込み、ハンドル止めねじで固定して下さい。

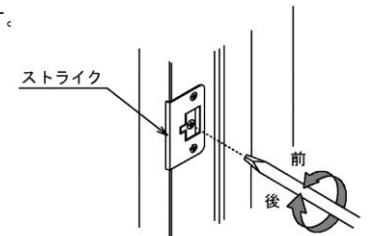
※座とレバーの取付けには必ず手動ドライバーをご使用下さい。



7. ストライクの調整方法

- ストライクの調整は、十字穴をドライバーで回して行います。
- 調整量  
前方向：2mm  
後方向：3mm

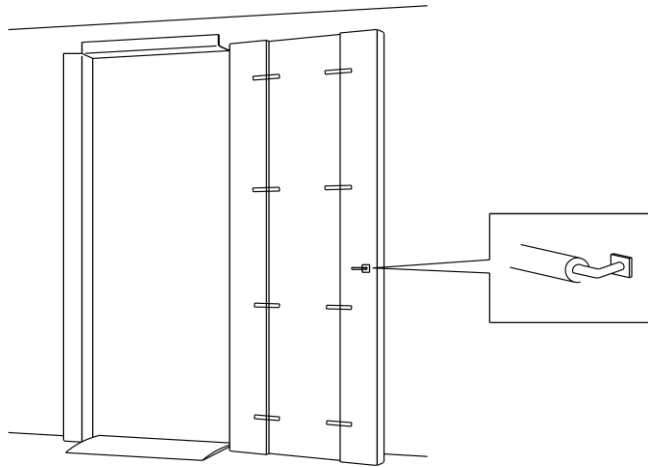
※お願い  
調整時に電動ドライバーは使用しないで下さい。



## 施工手順

### 8. 養生

- 枠・扉の取付けが終了したら、傷がつかないように扉・枠をダンボールなどで養生して下さい。
- 把手金具・丁番は布やミラーマットなどで養生して下さい。



- 扉を壁に立てかけて保管しないで下さい。  
扉が反る恐れがあります。

